

まちづくり 校区懇談会 開催

7/1 → 9/1

7月1日から9月1日まで、市内18会場において「まちづくり校区懇談会」を開催し、約900人が参加しました。

市長から令和2年度の重点事業について、新型コロナウイルス対策などを中心に説明。各校区が設定した校区課題では、「ごみ問題」など市内全域に関わる課題をはじめ、道路や下水道などの身近な環境整備に関する課題について、熱心な議論が行われました。



今年はコロナ禍の影響で「密」を避けるため、参加者を自治会長などに限定。感染予防対策を行った上で開催しました。

校区懇談会の様子 (7/1 多喜浜校区)

▼校区課題について▲

校区課題として、各校区からさまざまな課題が提出されました。その一部を紹介します。

上部東西線の進捗状況と安全対策について (中萩)

問 上部東西線の進捗状況および今後の予定と、信号機の設置場所や市道との接続、横断歩道の設置などの安全面の対策について説明をいただきたい。

答 上部東西線の残区間約2kmについて、萩生側(萩生出口本線から岸の下東旦の上線まで)の約1.2kmを街路事業で、



大生院側(岸の下東旦の上線から渦井橋大野山線まで)の約800mを道路事業で、平成30年度より2工区同時に事業を開始しており、萩生側は東から、大生院側は西から事業を進めています。令和元年度には、道路の詳細設計が完了し、一部区間の用地測量を実施しており、今年度から用地買収に着手しています。

安全対策については、本整備区間の中では、平成30年に供用開始した交差点(萩生出口本線との交差点)への信号設置および現況が通学路である市道との交差点、それぞれに横断歩道の設置を警察に要望しており、現在協議中です。

ごみ問題について (高津)

問 人口減少と自治会加入率の低下が急速に進み、加入率低

下が顕著である。これは、自治会加入のメリットがないなどが理由だと思われる。

ごみ問題については、長年いろいろと協議し、交付金などの要望もしてきたが、何の改善策も示されていない。市としてごみ問題の解消に向け、改善策を提示していただきたい。

答 ごみ問題については、主にごみステーションに関するものが多く、自治会未加入者のごみステーション利用や未分別のごみ排出などが多くの校区で問題提起されています。これらについては、現在、市と連合自治会とでワーキンググループを設置し、問題解決に向けて、協議を行っています。協議の中で、ごみボックス設置にかかる補助や交付金の活用についても検討したいと考えており、お時間をいただきたいと思います。



各校区で話し合われた校区課題 () は文書回答数

話し合われた課題	課題数 (件)	提出校区数
道路整備 (拡幅、舗装、改良など)	11 (9)	7 (4)
下水道、河川整備、浸水、排水対策など	3 (10)	3 (6)
交通安全対策 (信号機設置、白線の引き直しなど)	4 (4)	4 (3)
防犯・防災対策	6 (8)	5 (7)
公園整備 (新設、改善など)	2 (0)	2 (0)
教育環境整備 (学校施設改修など)	2 (2)	2 (1)
環境美化、生活環境改善など	13 (13)	9 (7)
その他 (地域固有の課題など)	6 (3)	5 (3)

ごみ問題をはじめとして、身近な環境整備の問題など、さまざまなご意見・ご質問をいただきました。こうした地域課題を市民の皆さんと行政が共有し、解決していきたいと思っております。

